

風水害の対策と備え

～ どうすれば被害を減らせるか～

筑波研究学園都市にある研究機関“防災科学技術研究所”の風水害専門家から最近の台風・大雨風水害に関する様々な報告や興味深いエピソード、研究成果などをご講演いただきます。昨今の平塚市内で発生している大雨被害の諸事情にも大いに参考になる貴重なお話を伺います。



なかね かずろう
中根 和郎 氏

独立行政法人 防災科学技術研究所 研究参事

講師プロフィール 1973年以来、旧国立防災センターおよび(独)防災科学技術研究所に勤務。この間、天竜川上流工事事務所(3年間)で洪水予報と水文観測業務、旧科学技術庁資源調査所(2年間)で地球科学の研究開発方向調査、米国環境衛星データ情報サービス応用・研究所(半年間)で、NOAA 衛星データを用いた蒸発散量推定研究等に邁進されました。また、研究室長(9年間)、総合防災研究部長(2年間)を歴任されたのち、2010年から同研究所の社会防災システム研究領域/災害リスク研究ユニットに研究参事として勤務されています。

平成 26 年

1 月 18 日(土) 午後 2:00 ~ 4:15 (開場 午後 1:30)

中央公民館 大ホール (定員 650 人) 入場は先着順です。

- 内容
- 1 災害の現状と豪雨発生状況
 - 2 危険なところはどこか
 - 3 どうすれば被害を減らせるか
平常時の備え、災害時の適切な判断

入場
無料

今回の防災講演会では、平成 26 年度平塚市防災標語入賞者の表彰式及び平塚市災害ボランティアセンターの紹介を行います。また、1 階ロビーにおいて、女性防災クラブ平塚パワーズによる防災パネル展も開催します。

問い合わせ先 平塚市災害対策課 21 - 9734